

古 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
平成30年度 NO. 1
平成30年4月16日
発行責任者 梶原 和子

平成30年度がスタートしました。今年度も「考える葦」よろしくお願いいたします！

こんにちは！今年度古山小学校長として着任しました「梶原 和子（かじはら かずこ）」です。どうぞよろしくお願いいたします。3月までは祇園小学校で勤務しておりました。この地区で勤務するのははじめてなので、皆さんどうぞいろいろと教えてください。そして、古山小学校の児童をよりよく成長させるため、保護者、地域の方々と協力して努力して参りたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

さて、平成30年度がスタートしました。校長室通信のタイトルも前校長の「考える葦」を使わせていただきます。本校に合った、とても素敵なタイトルですね。

ところで、日本書紀・神代巻や古事記などでは日本を古名で「葦原中国」（あしはらなかつくに）と称していたようです。古代の日本は、葦がたくさん生い茂る土地だったのですね。狭い国土に急な山々がひたをなす地形の日本で、葦原は海と山との間のクッションとなって、雨水や土砂の流出をせき止め、多くの生物の住処にもなりました。そして葦は大型で群生するので、より多くの二酸化炭素を吸収し、酸素を生成しました。そのため、温暖化の抑制にもつながったばかりか、水質を浄化したり、上流からの土砂の流出を止めて流れをゆるやかにしたりしたようです。このように陸地と海との緩衝地として、人間にとってもなくてはならない貴重な植物でした。古山小学校も、葦のようにこの地域にとってもなくてはならない学校としてこれからはますます発展していけるよう精一杯努めていきたいと思っています。

昨年度は、本校児童の様々な活躍を別の学校から見させていただきました。何事にも一生懸命で素晴らしい子どもたちとの印象を持っています。今年度はその子どもたちとともに、様々な教育活動を行えることがとても嬉しいです。

今年度は、Pepperを活用したプログラミング教育のをより一層推進したり、「日産財団理科教育助成研究」の最終年度でもあります。本校全職員で研究・研修に励み、今後とも学力向上に力を入れていきたいと思っています。そして古山小の児童も「よく考え、判断し、表現できるたくましい「葦（あし）の子」に育ててほしいと心から願っています。

さて、4月10日（火）の入学式では、75名の新入生を迎え、全校児童数は476名となりました。学級数は、1、2、3、4、5学年が3学級、6学年が2学級編制の17学級と、ひまわり学級、さくら学級の計19学級編制です。教職員数は市の職員等も含めて37名体制で平成30年度の学校教育の活動が始まりました。今年度も教職員一同、次代を担う子どもたちの健やかな成長を目指して取り組んで参りますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お世話になりました

4月11日、今回の定期異動で古山小学校から転出された先生方の離任式が行われました。児童代表からの「お別れの言葉」の後、離任された先生方お一人ずつお別れのあいさつをいただきました。別れの寂しさから、児童の目からも職員の間からも自然と涙がこぼれました。この度の異動でご退職、転出された先生方は次のとおりです。新任地でのますますのご活躍を心からお祈りしています。



よろしくお願いいたします

寂しい別れがあれば、新たな出会いもあります。今年度はこのメンバーが新たに加わりました。精一杯がんばります。



